



CREST「生命動態」第2回領域会議の開催報告

開催日： 2013年11月25日、26日

於： 日本科学未来館 イノベーションホール、産業技術総合研究所 生命情報工学研究センター

概要：

平成25年度採択の6チームが加わって百花繚乱、益々活気を増したCREST「生命動態」領域。

今回は、通常の研究計画・進捗の発表に加え、若手研究者によるポスター発表、産業技術総合研究所生命情報工学研究センターおよび創薬分子プロファイリング研究センターの施設見学と両センター長によるご講演、第1回数理解デザイン道場と、イベント盛りだくさんの2日間でした。

参加者は、山本研究総括、領域アドバイザー12名、11研究チームの研究代表者、グループリーダーおよび研究員等々、総勢100名近くが出席し、侃侃諤諤とアイデアを戦わせたり、見事な研究アプローチに感嘆したりと、非常に充実した会になったと思われます。



日本科学未来館イノベーションホールでの領域会議風景。前回同様、多くの領域アドバイザーから御出席頂いています。



交流会とポスター発表風景。竹縄忠臣アドバイザーから、今後ますます研究に対して発憤興起するような温かくも熱いご挨拶を頂きました。また、ポスター発表として、若手研究者37名からの熱意溢れる発表がありました。発表者の中には、研究試料を持参しての説明や、パソコンによるモデルのシミュレーションを披露して下さるなど、非常に工夫に富んでいました。最後に、今回の発表をねぎらう気持ちを込めて、研究総括および4名の領域アドバイザーから、ポスター賞の贈呈もありました。



26日午後は、産業技術総合研究所 生命情報工学研究センター別館に移動して、創薬分子プロファイリング研究センターの夏目徹センター長および生命情報工学研究センターの浅井潔センター長からセンターの活動紹介やご研究について講演頂きました。また、汎用ヒト型ロボット「まほろ」によるベンチワークの実演や生命情報工学研究センターで構築したソフトウェア・データベースのご紹介を各センター長に頂きました。



産総研セミナーに続いて、第1回目の「数理デザイン道場」を、道場長の望月敦史先生（理化学研究所・主任研究員）の見事な仕切りで開催致しました。数理デザイン道場とは、生命科学における理論研究を成長させる、新しい数理を生み出すための「切磋琢磨の場」であります。道場師範として、吉田亮先生（飯野チーム・グループリーダー；統計数理学研究所・准教授）、郡宏先生（影山チーム・グループリーダー；お茶の水女子大学・准教授）、石原秀至先生（月田チーム・グループリーダー；東京大学・助教）が、尤度、ベイズ推定、位相振動子モデル等のトピックを取り上げて講演され、会場の参加者が道場破りとして活発な質問や生命科学研究へどのように適用すべきかなどのディスカッションを行いました。「数理デザイン道場」は、今後、シリーズ化し、一般公開する予定です。

以上（領域担当 東美貴子）